

クレーン付き倉庫新築

福岡ロジテック 差別化&効率向上

福岡ロジテック（永山浩二社長、福岡県宇美町）は本社隣接地に天井クレーン付きの倉庫施設を新築し9月、稼働させる。フォー

リフトを使用せずに重量物などが扱える機能を生かし、他社との差別化を図る。新倉庫の増築も計画しており、交通アクセスに優

れる宇美町に物流拠点形成していく。

新しい倉庫は平屋建てで床面積が750平方メートル。工業製品の保管、配送業務を

交通アクセスに優れる宇美町に物流拠点を形成していく（本社西側の建設用地）



行う。十分な天井高を確保し、大型の鉄鋼製品、機械部品などを取り扱う。中継輸送における貨物の積み替えなどにも活用して輸送効

率を高め、ドライバーの労働時間を削減する。

同社は、本社の西側に1万平方メートルの用地を所有しており、今後、複数の倉庫や駐車施設の建設を計画している。九州自動車道・太宰府インターチェンジや福岡都市高速とのアクセスに優れ、荷主企業の物流効率化を後押ししていく。

永山社長は「近辺の運送会社の倉庫で天井クレーンを設置しているところは少ない。大型倉庫が対応しにくい領域で事業拡大を目指す。クレーン施設を充実させて荷役作業の収入を増やしたい。一方、貨物の積み合わせも進めて『2024年問題』への対応を進めると話している。